

再整理の経過

埋蔵文化財調査センター

1 これまでの経過

平成 24 年 4 月から史跡加曾利貝塚出土資料の再整理に着手し、今年度は 5 年計画の 4 年目に当たる。平成 26 年度までで分類・抽出作業や接合・復元作業など基礎的な作業が完了し、平成 27 年度から総括報告書の編集・執筆作業に着手している。

●おもな経過概要

年度	月	主な内容	担当
平 22	7月	再整理事業計画の内部検討に着手	生涯学習振興課文化財係
平 23	4月	出土遺物台帳作成に着手	加曾利貝塚博物館
		事業計画について国・県と協議を開始	文化財保護室
平 24	4月～	再整理事業に着手 【当初計画】平 24～26 の3か年で再整理事業を実施 平 27 前半に総括報告書を刊行	埋蔵文化財調査センター
平 26	4月	作業体制強化のため、嘱託職員2名採用	埋蔵文化財調査センター
	5月	工程見直しに着手 【修正計画】再整理作業の期間を平 28 まで延長 総括報告書の刊行を平 28 後半へ先送り	文化財保護室
平 27	4月	作業体制強化のため、嘱託職員1名追加採用 総括報告書編集・執筆作業に着手	埋蔵文化財調査センター
	5月	千葉市史跡保存整備委員会にて 史跡加曾利貝塚総括報告書編集部会の設置を決定	文化財課

2 再整理対象資料の概要

(1) 整理対象（整理箱小での概数）

土器 1500 箱、石器 40 箱、土・石・骨製品等 30 箱、骨 30 箱、貝サンプル 841 箱

※貝サンプル箱数は作業途中の暫定数。今回は約 350 箱を選別する予定で、約 490 箱は今後、事業外で実施を検討する。

(2) 外部保管遺物

東京大学総合博物館	人骨・土器・石器等
京都大学総合博物館	特殊貝製品など
国立東京博物館	骨角歯牙製品
明治大学博物館	人骨・土器・貝等
福島県須賀川市立須賀川博物館	骨角歯牙貝製品
旧椎名仙卓氏保管資料	土偶・土器

(3) 掲載遺物点数

平成 24 年度から実施してきた出土資料の分類・選別等の基礎作業が平成 26 年度末でほぼ終了した。その結果、下記の資料を総括報告書掲載対象として抽出した。

掲載遺物点数

種別	掲載点数	内訳	内訳点数	実測数
縄文土器	4713点			
土製品等	1978点	赤彩土器	636	68
		土器片錘	960	610
		土器片円板	159	130
		土偶	88	87
		土版	10	10
		土製耳飾	53	40
		ミニチュア土器	21	16
		他の土製品	51	29
骨角歯牙貝製品	1020点	骨角歯牙製品	354	189
		貝輪等	179	45
		貝刃	487	332
石器・石製品	1767点	石鏃等	69	51
		他の剥片石器	16	5
		旧石器	35	18
		打製石斧	281	57
		磨製石斧	116	23
		磨石類	614	196
		石皿・台石	311	28
		砥石	110	42
		石棒・石剣	85	10
		軽石製品	104	29
		玉、他の石製品	26	18